



# 化学二期生志摩に集る



我等化学二期生は、毎年同窓会を開催して来たところですが、平成六年は、卒業後四十年という節目の年に当る事より、

白い砂浜、碧い海、そして新鮮な海の幸を肴に一献傾ける事が出来る、志摩の地における開催という節目の年に当る事より、去



岩本喜一 「私の近況」  
三翠化学に近況を書くように云われて、さて退官してから何年たつたらう、と振り返ってみると、いつの間にかもう二十二年もたつている。私は今年の七月で満八十五才になる。こんな歳まで長生きしようとは思いません。退官してから十年、大山の近くの女子短大に勤め、終つてはつとしたのか、その二年後に重

の度農芸化学関係で次の三名の方がめでたく学術博士の学位を授与されました。社会人博士後期課程学生として頑張つて

三重県工業技術センターは津市高茶屋にあり、県内企業の活性化のための研究、指導、試験機関としての昭和三十六年に発足した当時は、津駅西の大谷町に醸造試験場として独立していましたが、役所の統廃合が急務であった昭和五十六年から三重県工業技術センターに吸収され、昭和六十二年からは高茶屋に移転しました。醸造担当のスタッフ技術次長を含めて四人で、全三翠化学会の会員です。今回は工業技術センターの仕事について紹介します。

三翠化学にて、三翠会費の徴収を平成七年度入学者から入学時に行う方向での検討が進んでいることのお知らせ致しましたが、もう少し論議が必要ということで、実施は平成八年度以降の入学生になります。(古市記)

## 随想 ザ・定年



私はもととサイエンスが苦手である。在職中の生化学実験や文献調査なども好きな分野ではなかった。C・AやJ・B・Cなど職場で読了できずに自宅へ持ち帰り、そのまま翌朝また持参。重い洋書を朝夕運搬するのは日課として女子大に勤務し、平成元年、六十五歳で退職した。高々と両手伸ばし、やい空！これからは好きな本が読める。心はずませて本棚に眠っている唐・宋・清の漢詩集の埃を拂った。

## 読書の楽しみ

大1 青木みか

寝返りをうつこともできなかつたが三年経過した時、自現でべった。娘時代に粟粒結核を病んだ。以来、肝炎、腎疾患などで再三入院した病弱な私は今日、母

## 農製研同門会のお知らせ

農産物利用学研究室出身の農本先生の退官祝賀会を下記のとおり開催いたします。また、これを機に農産物利用学研究室(旧農産製造学研究室)の同門が集えるような会を発足する予定です。是非ご参加下さい。尚、農産物利用学研究室(旧農産製造学研究室)、旧・現教官は次の通りです。

- 長瀬重蔵、奈良省三、山口猷三、前田敏、小宮孝志、今井邦雄、勝崎裕隆(敬称略)
- 日時 平成七年五月二〇日(土) 二時開会予定
- 場所 プラザ洞津(近鉄津新町駅下車 徒歩五分)
- 会費 一〇,〇〇〇円

## 博士 誕生

この度農芸化学関係で次の三名の方がめでたく学術博士の学位を授与されました。社会人博士後期課程学生として頑張つて

三翠化学に近況を書くように云われて、さて退官してから何年たつたらう、と振り返ってみると、いつの間にかもう二十二年もたつている。私は今年の七月で満八十五才になる。こんな歳まで長生きしようとは思いません。退官してから十年、大山の近くの女子短大に勤め、終つてはつとしたのか、その二年後に重

三翠化学にて、三翠会費の徴収を平成七年度入学者から入学時に行う方向での検討が進んでいることのお知らせ致しましたが、もう少し論議が必要ということで、実施は平成八年度以降の入学生になります。(古市記)

次ぎの方々には逝去されました。慎んでお悔やみ申し上げます。  
神田芳文氏(専三)  
平成六年一月三日 死去  
小林 隆氏(専三)  
平成七年三月三日 死去

## 計 報